

リハビリテーション科に通院中の患者さん又は
通院歴のある方へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 前十字靭帯再建術後患者のパフォーマンス改善に有用な動作特徴に関する調査

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 理学療法士 實廣 祐

《研究の目的》 前十字靭帯再建後の疼痛予防や再手術予防に向けた効果的なリハビリテーション治療を提供するために注目すべきスクワット時の関節やその運動の特性を明らかにすること。

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2027年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

前十字靭帯損傷後の患者さんで、2017年4月1日から2026年3月31日の間にスクワットの動作解析の検査を受けた方

●研究に用いる情報の種類

- 1) 情報：診断名、年齢、性別、動作解析結果、下肢筋力、関節可動域、疼痛評価、膝関節症に対するの患者立脚評価法(Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score)、レントゲンおよびMRI画像

《情報の利用を開始する予定日》 2025年1月15日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

《小学生、中学生の患者さん》

この研究は膝前十字靭帯の手術の前と後に片足でスクワットをしてもらい、体の関節がどのように動いているか、その特徴を調べる研究です。これを調べることで再度靭帯を痛めることがないように予防する方法を見つけることを目的にします。患者さんの名前や住所は誰にもわからないように注意して研究をすすめます。もし研究にデータを使ってほしくない場合は、保護者の方と下の連絡先にお電話ください。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 リハビリテーション科 理学療法士 實廣 祐

大阪府枚方市新町 2-3-1

TEL : 072-804-0101 (PHS : 56756)